



No.65
2013.5.30

SEA NEWS



- ① …「第7回埼玉県第4種サッカーリーグ」開幕!・平成25年度第1回運営会議開催
- ② …Jリーグ20年。日本サッカーのこれからへの提言～横山謙三副会長兼専務理事に聞く
- ③ …埼玉県のキッズの現状とこれから～埼玉県第4種少年連盟・河野雅明キッズ委員長に聞く～
- ④ …特集 SFAインターンシップ～受け入れの現場&OBから～
- ⑤ …大会記録●県内大会 1種大学・社会人・2種高校・女子
- ⑥ …大会記録●県内大会 女子・フットサル ●県外大会 1種社会人・大学・2種
- ⑦ …大会記録●県外大会 3種・4種・女子・フットサル ●訃報 故・井口正夫さんを偲ぶ
- ⑧ …インフォメーション・編集後記

●発行/発行人:会長・相川宗一 編集人:荒川裕治 ●発行所/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ音ビル204号室 Tel048-834-2002-Fax048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

「第7回埼玉県第4種サッカーリーグ」開幕!



4月20日、幸手市少年サッカー場において「第7回埼玉県第4種サッカーリーグ」が開幕しました。今年は過去最高となる390チームが参加し、52ブロックに分かれてそれぞれのリーグをホーム&アウェイで戦います。

長いシーズンがスタートしました。12月23日、埼玉スタジアムの決勝を夢見て「トライ&エラー」を続けながらも、一戦一戦を大事に戦ってもらいたいものです。開催日程はSFA公式ウェブサイトから少年連盟のホームページにリンクしてあります。お近くの皆さんにはぜひお出かけいただき、子どもたちに声援をお願いします。



平成25年度第1回運営会議開催

5月24日、埼玉スタジアムボールルームにおいて、2013年度第1回運営会議が開催されました。

理事会を前にして、平成24年度の決算・事業報告(案)が議題になりましたが、6つの委員会・種別連盟から決算書が大幅に遅れたことと公益財団法人になって初めての決算ということもあり、この日に決算書が間に合いませんでした。遅れた6団体には反省していただき、次年度は締め切り厳守をお願いします。

2014年度の天皇杯の決勝が、アジアカップの日程を考慮して12月内で終わることになりました。これに伴い、2014年度に行うはずの県内予選(彩の国カップ)を、2014年3月30日に社会人と大学の代表が対戦するという形で開催されることが報告されました。改めて、すでにタイトになっている日程を調整することは難しいものです。

その他として、公式ウェブサイトに県内医療機関・スポーツドクターの情報を掲載したこと(下記参照)と昨年一年間、SFA

ミッション特別委員会の管理下に置かれた「SFA公式ウェブサイト」の管理・運営を広報委員会に戻ることが報告されました。

公式ウェブサイトに県内医療機関・スポーツドクターの情報を掲載

大会や練習の際は、緊急対応が可能な病院について予め確認下さい。また、その他お困りの際にご参考いただければ幸いです。

◆埼玉県医療機能提供システム(埼玉県HP <http://www.iryokensaku.jp/saitama/>)

埼玉県では、医療機関や薬局から報告された医療又は薬局の施設やサービスに関する情報を県民のみなさまに分かりやすい形で提供しています。

◆休日・夜間の急病などのときの医療機関(埼玉県HP <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/20091228iryoku/>)

それぞれのホームページとリンクしていますので、診療時間や診療内容などを確認したうえで、受診してください。

「救急車を呼ぶほどではないが、緊急に受診が必要なとき」「休日、祝日、夜間などに、どこの医療機関で診てもらえばよいか分からないとき」などには、下記の電話番号にて受診が可能な医療機関のご案内を行っています。

救急医療情報センター 048-824-4199

※歯科、口腔外科及び精神科の案内はしていません。医療相談のお答えはできません。

◆スポーツドクター検索(日本体育協会HP <http://www.japan-sports.or.jp/medicine/DoctorSearch/tabid/75/Default.aspx>)

スポーツをする方の健康管理やスポーツによるケガの治療等に当たる「スポーツドクター」を、都道府県やスポーツ種目、診療科目で探すことが出来ます。



Jリーグ20年。日本サッカーのこれからへの提言

～横山謙三副会長兼専務理事に聞く

「空洞化」と言われる今こそ、チャンス

Jリーグが始まり、今年で20年を迎えました。93年当時を振り返れば、各クラブが優れた外国籍選手を補強したことで技術的にも戦術的にも以前とは違うサッカーを観ることができました。彼ら外国籍選手たちは、日本人選手たちのいいお手本となり、98年には初めてワールドカップ出場を果たし、そこから順調に成長し、現在では多くの日本人選手が海外に飛び出しプレーするようになりました。これも、プロになったからでしょう。プロにならなければスーパーな選手はなかなか出てきません。ペレやベッケンバウアー、マラドーナ、メッシなどは、厳しい世界の中から出てきた選手です。かつて共産国が強いと言われてきましたが、それでも彼らはワールドカップでは勝てなかったのです。なぜか？ やはりプロ、そして自由があってこそ、です。活躍すればお金も入りますが、ミスすれば批判もされます。また試合に出れば多くのお客さんの中でプレーできますが、出られなければ移籍があります。このようなことが、選手が強くなる条件なのだと思います。

現在は日本人選手の海外流出によって、Jリーグが「空洞化」しているという声もありますが、私は極めて順調だと思っています。

というのは、選手であれば、いい環境、レベルの高い環境を求めるのは当たり前です。ブラジルやアルゼンチンを見てください。優れた選手はヨーロッパへ移籍していきませんが、それでもクラブワールドカップに出場し、優勝しています。これは歴史やクラブ運営の巧みがあるからですが、日本としては「空洞化」と言われる今こそ、Jリーグ創立時に掲げた「新しいスポーツ文化を創る」いいチャンスだと思うのです。

創設当時のJリーグは、Vゴールや前期後期のチャンピオンシップ、そしてサテライトリーグなど、自分たちにはこのやり方が良いと判断して、導入しました。日本独自のルールを作ってやってみようとしたことこそ、これが個性だったのかもしれませんが、個人的には年間を通じたリーグ戦にVゴール方式は合わないと思っていましたが、これがよかったのかどうか検証せずに止めてしまったのは残念でした。それはただ単に、世界に合わせただけだったからです。更には言えば、日本の個性、独自性が消えてしまっているのが現状です。

そこで「空洞化」です。これに対して、Jリーグはどのように対処すればいいのでしょうか。一つはJリーグのサッカーそのもののレベルアップです。今こそ、改めて世界のトップクラスの選手を補強して、世界のサッカーをリードする「Jリーグ」を創るのです。も

う一つは選手たちの成長プログラムの実行です。これらの上で、日本の長所であるフェアプレーや規律、忍耐力などを日本人選手たちはもちろん、世界のトップレベルの外国籍選手たちにも理解を促し、実践することです。これがあって「新たなスポーツ文化」が創られ、世界のサッカーをリードしていくことを願っています。

フェアプレーを具体的に示すということ

さて、フェアプレーとは何でしょうか。それを示す良い機会が、5月11日のJリーグ20周年のアニバーサリーマッチでした。JFA会長、Jリーグチェアマンが観戦する中、何度も映し出されたモニター映像でスタジアムのほとんどの人たちが理解できたオフサイドのシーンがありました。

あの場面で、モニター映像が出たことはJリーグ20年の進歩の一つだと思いますが、これを活かすことなく「微妙なシーンはモニターに出さないよう」と言っている様では、スポーツの正しい進歩を阻害してしまいます。あのとき、フェアプレーとは何かをはっきり示すことが本物のプロフェッショナルスポーツのはずです。おそらく答えはいくつかあると思いますが、具体的に示すことが最も大切なのです。

ヨーロッパでも、FIFAでも「そんなことはやっていない」ということはたくさんあると思いますが「フェアプレーとはこうだ」ということを、ぜひ日本のJリーグから世界に発信して行くことこそが、日本独自のサッカー文化を生み出すことに繋がると思います。

Jリーグの理念の一つに、青少年のモデルになるということがありますが、臭いものに蓋をするのではなく、あの場で正しいこと（フェアプレー）は何か、ということを示さなければならないのです。人間が作り出した願望でもある「フェアプレー」をサッカーに関わる方々が語らなければ、日本独自のサッカー文化、スポーツ文化は育たないのではないのでしょうか。この文化を育てることが、世界のトップを目指す具体策でもあるのです。日本独自の「日本流」を作ることが、今、必要だと思います。

最後に。聞いた話ですが、あの試合をスタジアムで観ていたあるご婦人が「今日までオフサイドってわからなかったけれど、あれがオフサイドなのね」と言っていたそうです。映像の力がサッカーの発展に大きく貢献することを再確認することができました。

今年度は不定期になりますが、横山副会長の声を紹介させていただきます。



埼玉県のキッズの現状とこれから

～埼玉県第4種少年連盟・河野雅明キッズ委員長に聞く～

情報発信が課題

— 昨年の実績を教えてください。

河野 年間6回のキッズフェスティバル（JFAユニクロサッカーキッズ含む）を開催し、47カ所（小学校40校、幼稚園・保育園7園）の巡回指導で約5,200名の子どもたちと触れ合い、キッズリーダー講習会では8回で203名の方に受講していただきました。

これらフェスティバル、巡回指導、指導者講習会の3つに、保護者に対する食育といった研修を入れて、事業としては4本柱で行っています。

多忙の中、皆さんには様々な形で関わっていただき、事業ができていくという状況です。

— ありがとうございます。その中で何か課題はお持ちですか。

河野 告知ですね。例えば6月9日にU-6のキッズフェスティバルをくまがやドームで開催しますが、ホームページだけの告知で今回の参加は20チーム。やや少ないかなと思います。ちょうどこの時期は幼稚園、保育園の行事が多く、日程的に難しかったかなと思いますが、ホームページだけでなく、もっと告知ができればもう少し集まっていたのかなと思います。

— 告知については、こちらも協力させていただきます。メール配信サービスとして「SFAインフォメーション」も始めました。利用してください。

フェスティバルの報告は紹介できていますが、その他の事業についても報告、紹介していきたいものです。



河野雅明氏

河野 ありがとうございます。ただ、報告、紹介については、もっと広報として関わっていただきたいものです。

— 今後、すり合わせをしていきましょう。活動の報告をすることで「キッズ」に対する理解は増えるはずですよ。

8月にはリフレッシュ講習会を開催

河野 指導者養成を行っていますが、C級ライセンスをお持ちの方が受講していただくとリフレッシュポイントが付くことになっています（埼玉の場合、午前と午後で開催するので10ポイントつくことになっている）。ライセンスを失効する寸前で駆け込んでくる方も多いのは事実ですが、受講されることによって「キッズ」を理解していただければいいなと思っています。「キッズの指導はいいな」と思ったら、我々の仲間に入っていただければいいのですから。そういう方々も大事にし、かつ救済する場としては、キッズリーダー講習会は重要になっていると思っています。

あと現在、埼玉県少年連盟の中の「キッズ委員会」として活動していますが、そのせいか「キッズ」としての独自性が薄くなっていると思います。また少年連盟の中にいることで、少女のチームやサッカーに関わっていない子どもたちへ情報や告知が伝わっていないということが課題だと思っています。

— 「種別」としてはやはり「4種」の括りになると思います。ただ情報発信については、もっといいやり方があると思います。これも合わせて一緒に検討させてください。

さて、最後に「キッズ」のこれからについて、お願いします。

河野 FIFAグラスルーツメソッドを県内に伝達すべく、8月にキッズリーダーのリフレッシュ講習会と、メソッドを学んだ上で実際に子どもたちと触れあうフェスティバルを二日間で予定しています。

あとは11月24日に西武ドームで今年も「JFAユニクロサッカーキッズ」を開催します。こちらにも多くの子どもたちに集まっていたきたいと思っています。

一人でも多くサッカーに、スポーツに触れて、経験してくればという願いで活動しています。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



特集 SFAインターンシップ～受け入れの現場&OBから～

現在、SFAインターンシップについては、受け入れを希望する中学校と学生のマッチングを行っている最中です。さて今回は、お二人にお話を伺いました。

一人は、大学生の受け入れていただく中学校の顧問を代表して、志木市立宗岡第二中学校の飯塚喜大さん。もう一人は、このSFAインターンシップの第一期生で教員になった鈴木文彬さん（戸田市立戸田中学校）です。

もっと多くの皆さんにこの制度への理解をしていただき、活用していただきたいと思います。よろしくお願いします。

飯塚喜大氏（志木市立宗岡第二中学校）

「中、高と野球をやっていました。教員となった新任のときはソフトボール部の顧問でしたが、2校目から前任校まで野球部の顧問でした。昨年の4月に赴任したところ、サッカー部の顧問が不在ということもあり、サッカーは初めてではありましたが『必要とされるのであれば』と顧問を引き受けました。

子どもたちの全体的な雰囲気としては、ダラーンとした感じでした。でも中には「しっかりサッカーをやりたい」という子どももいましたので、昔の教え子にアドバイスをもらったり、自分なりに本を読んで勉強して指導していました。そんな中で、その教え子からこのインターンシップのことを聞き、また県教育局から連絡をいただいたので『後期にはぜひとも』と手を挙げさせてもらいました。これまで部活を通じて、子どもたちの成長する姿を見てきました。だから、宗岡第二中学校の子どもたちにも、いろいろな体験をさせてあげたいと思ったのです。

指導には、立教大学の学生二人が来てくれました。自分たちでプレーを実際に見せてくれましたし、メニューも考えながら取り組んでくれました。こちらとして喜んだのは、子どもたちが『明るく楽しく』を『適当に楽しく』と勘違いしていたところを、マナーや気持ちの切り替えも含めて指導してくれたことです。半年のことでしたが、私自身勉強になりました。また私自身が50代となって思うのは、20代のときと子どもたちとの接し方が違うということです。それぞれの接し方がありますが、彼らの接し方は新鮮でした。

子どもたちは彼らが来るのを楽しみにしていましたし、ドリブルなどの技術を着実に身につけてくれました。また、クラブチームに所属している子どもたちが「週2回参加させてください」と言ってくれたり、中にはクラブチームを辞めて入ってくれた子どももいます。週1回ではもったいないですね。2、3回来てほしいくらいです。更に言えば、練習試合にも来てアドバイスをもらえばより効果が上がると思います。

来年度(25年度)も希望しています。引き続き、よろしくお願いします」



鈴木文彬氏（戸田市立戸田中学校）

「小2のときに浦和南サッカー少年団でサッカーを始め、大谷場中、市立浦和、県立大学でサッカーをやっていました。県立大学のサッカー部は私が入学したときにでき、3年のときにはキャプテンとなり、4年生のときは県1部リーグでチームが4位になりました。

大学に入る前から体育教員になりたくて、大学を卒業した後は教師として部活に取り組もうと思っていました。ちょうどインターンシップの募集があり、大学の佐藤監督(雄二氏)から紹介されて、よくわかっていませんでしたが、受講することにしました。これまでも後輩に指導することはありましたが、やはり一人のコーチとして認められるようになりたいというのが強かったですね。

講義では平成国際大学のグラウンドもよかったですし、西川さん(誠大氏・平成国際大学監督)の話も『そうなんだ』と思うことが多かったですね。それまで当たり前のように指導者の皆さんがやっていたことが、受講することによって改めて納得できました。例えば、集合するときに太陽の向きを考えて指導者は立つなど、考えていませんでしたからね(笑)。すごく新鮮でした。

あとは集中力や切り替えなど、気持ちのところが理解できました。だからなのか『今、何を言われているのか』を考えるようになりましたね。そこから考えてプレーするようになったと思います。

受け入れていただいたのは、戸田市の喜沢中でした。やんちゃな子どもが多く、私が行くと『サッカーの人が来た』と興味を示してくれたのですが、規律がなくて話を聞いてくれませんし、何もしてくれないという状況でした。インターンシップでの指導実戦では、仲間たちがしっかり話を聞いてくれていただけに、そのギャップに苦労しました(苦笑)。

ただ回数を重ねていくうちに、少しずつ“サッカー”のエッセンスを入れていき『この人の話を聞けば、サッカーがうまくなるかな』と思ってくれる子どもたちが増えてきた手応えはありました。

実際、教員となり上尾市立上尾中学校に赴任しました。なかなか忙しく、指導現場に出ることができず、毎日子どもたちと一緒に汗を流すという自分が抱いていたイメージとは違っていました。ただ、インターンシップのときは違い、授業などを通じて子どもたちが自分のことを理解してくれるようになるなど、コミュニケーションができていたので指導はやりやすかったですね。特に朝練はみっちりやっていました。

今年、戸田中に赴任し、サッカーと生活面、両方を指導しています。市高時代、「愛される選手、愛されるチーム、愛すべき仲間」という言葉に触れました。これを信条に、子どもたちには文武両道を目指してほしいと願っています。

県内の大学生の皆さんには、在学中にいろいろなところで経験を積むことが大事だと思います。サッカーとの関わり方はいろいろあります。この先、自分がどのようにサッカーと関わっていくのかを、今のうちに考えるのがいいと思います。その一つとして、このインターンシップを活用することをお勧めします」

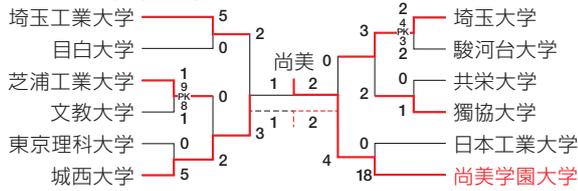


大会記録 ● 県内大会

1種

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東代表決定戦 埼玉県予選

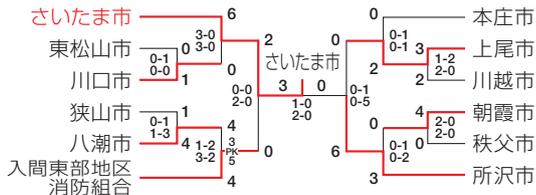
4月7日～28日 尚美学園大学他



※優勝した尚美学園大学など上位3チームは関東代表決定戦の予備予選に出場する

第42回全国自治体職員サッカー選手権大会埼玉県予選

4月27日～5月25日 堀崎公園サッカー場他



※優勝したさいたま市を含む上位3チームが南関東地区予選に出場する。

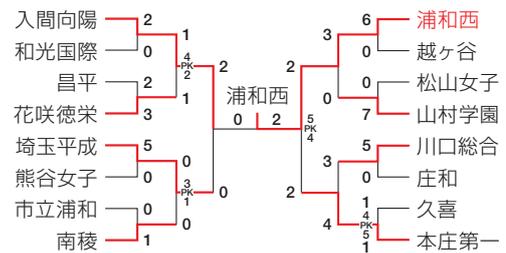


決勝 正智深谷 vs 市立浦和

女子

平成25年度学校総合体育大会埼玉県大会

4月20日～5月11日 久喜市総合グラウンド他



※浦和西は初優勝



決勝 さいたま市役所 vs 所沢市役所



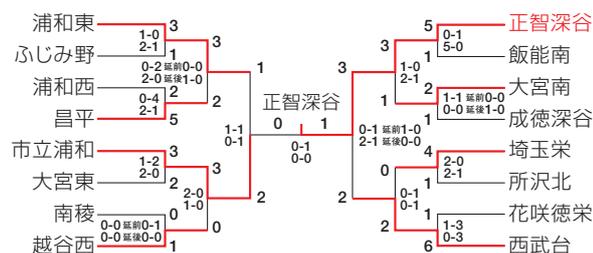
さいたま市役所



2種・高校

平成25年度 高校サッカー関東大会 埼玉県予選

4月13日～28日 NACK5スタジアム大宮他

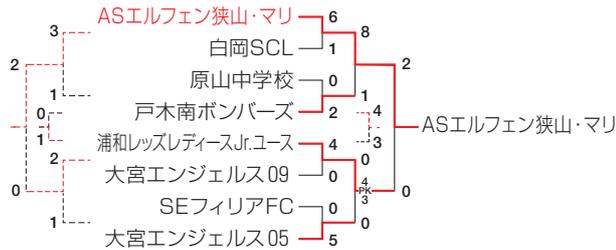


※正智深谷は初優勝で関東大会へは2年連続3回目の出場。市立浦和は2年ぶり22回目の関東大会出場となる。



浦和西 vs 入間向陽

**第18回埼玉県女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼
第18回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会埼玉県予選**
4月13日～29日 越谷しらこぼと運動公園競技場他

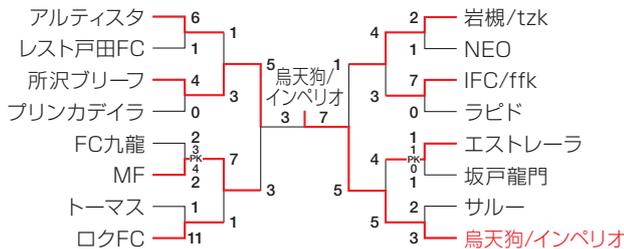


※初優勝した ASエルフェン・MARI は全国大会に出場。2位、3位は関東大会(全国大会予選)に出場。4位の大宮FCエンジェルス05は東京都4位とプレーオフを戦う。

フットサル

第2回埼玉県フットサル選手権大会

2月9日～4月13日 富士見市立体育館



※優勝は鳥天狗/インベリオ

第2回埼玉県女子フットサル選手権大会

3月30日 熊谷ドーム



※優勝はSAICOLO

大会記録●県外大会

1種・社会人

関東リーグ1部

5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
5位	さいたまSC	3	3	2	12



さいたまSC

関東リーグ2部

5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
7位	大成シティFC坂戸	3	0	5	9
9位	ACアルマレッザ飯能	1	2	5	5

1種・大学

「アミノバイタル」カップ2013 第2回関東大学サッカートーナメント大会 予備予選

5月25日、26日 県内各地

尚美学園大学	2-0	国際武道大学
明海大学	4-2	埼玉大学
城西大学	4-2	横浜国立大学(延長)

※尚美学園大学と城西大学が本大会(兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東予選)に出場する

JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ2部

5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
1位	東京国際大学	8	1	0	25
10位	平成国際大学	2	3	4	9

2種

高円宮杯U-18プリンスリーグ関東1部

5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
7位	浦和レッズユース	2	2	2	8
8位	大宮アルディージャユース	2	2	2	8

高円宮杯U-18プリンスリーグ関東2部

5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
3位	武南高校	4	1	1	13



武南高校

3種

関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部 5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
2位	浦和レッズジュニアユース	8	1	3	25
7位	大宮アルディージャジュニアユース	5	2	5	17
12位	クマガヤSC	2	2	9	8

関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部 5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
5位	GRANDE FC	6	2	4	20

JFAプレミアカップ2013 supported by NIKE

5月3日～5日 J-GREEN堺

●グループリーグC

名古屋グランパス 2-2 大宮アルディージャ

コンサドーレ札幌 1-2 大宮アルディージャ

愛媛FC 0-0 大宮アルディージャ

※大宮アルディージャがグループ1位で決勝ラウンドへ進出

●決勝ラウンド

準決勝 大宮アルディージャ 3-2 サンフレッチェ広島

決勝 大宮アルディージャ 2-1 京都サンガ

※大宮アルディージャは初優勝。8月にイギリスで開催される「マンチェスター・ユナイテッド・プレミアカップ・ワールド・ファイナルズ2013」に出場する。

4種

JA全農杯チビリンピック2013小学生8人制サッカー in 関東

3月23日、24日 押原公園グラウンド

●予選リーグB

順位	チーム名	レジスタ	ともぞう	フロインツ	岩神少年	勝点	得点	失点	得失差
1	レジスタFC	*	4○0	10○0	11○0	9	25	0	+25
2	ともぞうSC	0●4	*	2○0	7○0	6	9	4	+5
3	フロインツ	0●10	0●2	*	5○1	3	5	13	-8
4	岩神少年SC	0●11	0●7	1●5	*	0	1	23	-22

●決勝トーナメント

1回戦 レジスタFC 4-0 川崎フロンターレ

準決勝 レジスタFC 0-3 東京ヴェルディジュニア

3位決定戦 レジスタFC 4-3 横浜F・マリノスプライマリー

※東京ヴェルディジュニア、ヴァンフォーレ甲府U-12が全国大会に出場する

女子

ブレナスなでしこリーグ2013 5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
8位	浦和レッズレディース	1	2	6	5

ブレナスチャレンジリーグ2013 5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
2位	ASエルフェン狭山	6	1	1	19

第19回関東女子リーグ 5月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝ち点
3位	武蔵丘短期大学	3	1	2	10
4位	浦和レッズレディースユース	2	3	1	9
7位	尚美学園大学	1	1	4	4

第18回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会予選プレーオフ

5月18日 フクダ電子スクエア

大宮FCエンジェルス05 3-1 十文字中学校サッカー部

※大宮FCエンジェルス05が、第18回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会に出場する

シニア

第13回全国シニア(60歳以上)サッカー大会

5月25日～27日 にかほ市仁賀保グリーンフィールド他

●グループリーグB

埼玉シニア60 1-0 SUPER GOAL 3

埼玉シニア60 1-0 名古屋500クロウズクラブ

埼玉シニア60 2-0 信州シニア60選抜

※埼玉シニア60はグループリーグ1位

●決勝ラウンド

準決勝 宮崎県選抜 0-1 埼玉シニア60

決勝 埼玉シニア60 0-0 大阪シニア60 (1PK4)

※埼玉シニア60は準優勝

シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル

5月25日～27日 にかほ市仁賀保グリーンフィールド他

●グループB

北海道七十雀サッカークラブ 0-7 埼玉シニア70

埼玉シニア70 2-1 名古屋500クロウズクラブ

埼玉シニア70 9-1 えひめ四十雀FC

※埼玉シニア70はグループリーグ1位となった

フットサル

第29回全国選抜フットサル大会関東大会

5月11日～25日 立川市泉市民体育館

1回戦 茨城県 3-2 埼玉県

※関東代表は東京都

●訃報 ～ご冥福をお祈り致します～

故・井口正夫さんを偲ぶ SFA副会長・星野隆之
井口正夫さんが平成25年4月26日、68歳の若さでご逝去されました。

保健体育教諭として教鞭をとる傍ら、若くして埼玉県サッカー協会の理事となり、埼玉サッカーの発展の為に尽力下さいました。特に平成8年度～20年度の長きにわたって規律・フェアプレー(現、フェアプレー・規律)委員長として活躍いただき、フェアプレーの重要性が浸透するようご努力下さいました。

私にとって一歳下の井口さんは、中学、高校、大学と常にライバルの関係にありました。特に高校時代は浦和市立高校(現さいたま市立浦和高校)が全盛期に入り、浦和西高と浦和高校が2番手で争い、互いに「市立を破って全国へ」の夢を持って激しい戦いをしたものです。大学を卒業して埼玉に教員として奉職し「埼玉教員クラブ」(現、さいたまサッカークラブ)でチームメイトになってからは「ライバルから仲間」になり、馬があつたのでしょうか、酒豪の彼の家へ酒の飲めない私が伺っては、サッカー談議に花を咲かせたものでした。

酒が好きで、子供が好きで、情熱家で、筋の通らない事は許さず、痩せたり太ったりダイエットが趣味のように体型を変えてはニヤッと笑っていた井口さん。あまりに若すぎるお別れになりました。残念で、残念で仕方ありません。

心からご冥福をお祈りします。合掌。

なお、葬儀は故人の希望により、ご親族とごく親しい友人のみで執り行われた事をご報告いたします。

略歴

浦和市立白幡中学校～県立浦和西高校～早稲田大学
昭和43年、保健体育教諭として浦和市立美園中学校に赴任し、その後母校浦和西高校を経て平成17年、戸田高校を最後に退職。

埼玉教員サッカークラブ選手として、第23回、第24回国民体育大会優勝。

埼玉県サッカー協会理事(昭和60年度～平成17年度)、同規律・フェアプレー委員長(平成8年度～20年度)

インフォメーション

●浅見俊雄氏、AFC功労賞授与

5月3日にマレーシアで開催されたAFC総会にて、浅見俊雄氏(県立浦和高校卒。JFA顧問)がゴールドスターアワード(30年賞)を授与されました。おめでとうございます。

●天皇杯組み合わせ決定(1~3回戦)

1回戦 8月31日

栃木県代表 vs 埼玉県代表 栃木グリーンスタジアム

2回戦 9月7日 or 11日

大宮アルディージャ vs 鳥取県代表 or 岡山県代表 NACK5 スタジアム大宮

浦和レッズ vs 埼玉県代表 or 栃木県代表 浦和駒場スタジアム

3回戦 10月13日 or 14日 or 16日

詳細は下記まで

<http://www.jfa.or.jp/match/topics/2013/62.html>

●「SMCサテライト(埼玉)リフレッシュ講座2013」開催 ~47都道府県初の試み~

開催日:平成25年6月23日(日)

時間:午前9時30分~12時30分

午後13時30分~16時30分(予定)

会場:彩の国すこやかプラザ 研修室1・2

〔さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65〕

JR京浜東北線 与野駅西口より徒歩10分

受講料:5,000円

定員:40名(先着順)

※今回の講習会は、埼玉でSMCサテライト講座を受講した方のみが対象です。

◆講師:遠藤 誠〔Endo Consulting Office 代表/人材開発マネジメント株式会社 コンサルティンググループ〕

SMC サテライト講座の初年度から財務講座の講師を務めて頂いております、遠藤先生を講師としてお招きします。現在、文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」委員会メンバーに任命されており、スポーツに関しては、SMC本講座の講師をはじめ、日本体育協会公認クラブマネジャー養成講習会講師を務めていらっしゃる他、体育協会主催講習会(石川・新潟・京都など)で、地域総合型のクラブの支援も行っておられます。

「私、実は財務よりも、マネジメントが専門なんです。また、皆さんとお会いできることを楽しみにしております!」(遠藤先生)

◆講座内容

講座1(午前)

「組織の存在意義とは」

皆さんがサテライト受講後、それぞれ所属している組織で直面している問題や課題は何でしょうか。皆さんが描くミッション・ビジョンについて共に考え、共有し、再認識していきます。

講座2(午後)

「組織マネジメントにおける個人の能力・スキルアップ」

組織は「個人と個人の絡み合い」「他者とのつながり」そして「信

頼関係」ができて“うねり”を生み出します。組織の個人個人が絡みあい、その“うねり”が大きなウェーブとなって新しい価値を生み出せるよう、まずは個人の能力・スキルアップを図っていきます。

ただ聴くだけの講習会ではなく、参加型です。そして実際にスキルを身につけて、お帰りください。

◆懇親会について

17時頃よりJR京浜東北線 北浦和駅周辺にて懇親会を行いますので、ぜひこの機会に交流を深めていただければ幸いです。

会費:2,000円 ※懇親会のみご出席の方は3,000円となります。

◆受講申込について

「氏名・連絡先(PCメール)・携帯番号・現所属(スポーツ組織及び本職として)・懇親会欠欠」について、6月10日(月)までにsmc@saitamafa.or.jpへご連絡下さい。

※講義は会場の関係で先着40名とさせていただきますので、恐れ入りますがご了承ください。

※懇親会のみのご出席も可能です。

※当日ご準備いただく資料などは、別途ご案内いたします。

詳細は事務局・小豆澤(048-834-2002)まで、お願いします。



●SMC サテライト講座への思い

担当/荒川裕治(広報委員長)

今年で埼玉でのSMC サテライト講座が始まって、6年目に入ります。すでに100名以上の皆さんに受講していただきました。皆さん、それぞれのステージでご活躍のことと存じます。

SFA ミッションにおいても「人づくり」を掲げていますが、このSMC サテライト講座では、スポーツ環境を考えるマネジャーの養成を行っています。意識を少し変えることで様々なものが見えてきます。SMC サテライト講座は、そんな刺激をもらえる場だと思ってもらえれば幸いです。もし、ここで物足りなければ、SMC本講座もあります(現在、募集中です)。埼玉からは毎年受講しており、こちらの修了生は11名となっています。

我々一人ひとりの意識が向上することが、スポーツ環境をよくする原動力になるでしょう。そして、皆さんが関わる組織を活性化するのはです。一人ひとりが、現状をよくして行こうという意識を持たなければ何も変わりません。常に質を向上させることは、責任でもあります。そういう思いを持ち、更にもっと横の繋がりを作り、種別や地域の枠を越えた「仲間づくり」をすべく、今回のリフレッシュ講座を企画しました。ぜひ、お集まりください。

そして、またサテライト講座が2月に開催される予定です。また多くの皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

編集後記

●昨年は4種の全国制覇が目立ちましたが、今年は3種で全国制覇を果たしました。これから全国優勝チームが増えるといいですね。(坂庭)

●司馬遼太郎「坂の上の雲」全8巻を読み始めて早9ヶ月、しかしまだ2巻途中★先は長いですが、面白いので地道に読み進めたいと思います!(こいち)

●先日友達から「ピクニック」に誘われ、日韓中越という組み合わせの中、一緒に夕食まで食べて楽しい1日に。越だけ言葉通じず…でしたが、ポディランゲージ+翻訳アプリが活躍してくれました!(笑)(かのう)

●田んぼに植えられた稲を眺め、あっという間に来るであろう収穫時期の自分の姿をイメージ。このままではマズイ…走らねば。(小豆澤)

●暑くなってきました! 最近、運動不足+暴飲暴食でメタボ疑惑なので、以前のように審判活動を増やして、食事管理を徹底していきたいと思っている今日この頃です……。メタボ疑惑の方、夏本番に向けて私と一緒に頑張りましょう!(佐々木)

●今年、関東大学リーグ2部に昇格した東京国際大学が躍進しています。結果的に関東の強豪、古豪をなぎ倒し、8連勝。8勝1分で首位でリーグ戦を折り返しました。素晴らしい

成績です。しかし、この東京国際大学の9連勝を阻止したのが、平成国際大学でした。5月25日の埼玉同士の直接対決がありましたが、「先輩」としての意地を見せたというところでしょうか。平成国際大学の巻き返しも期待しています。

さて「SFAインフォメーション」が本格的にスタートしました。SFAからの情報をダイレクトでお届けします。登録メンバーだけでなく選手のご父兄やサッカーファンの皆さんの登録をお待ちしております。ぜひ公式サイトを覗いてみてください。よろしくお願ひします。(荒川)